

## 研究利益相反審査委員会・倫理審査委員会議事録

- I 日 時 令和4年6月16日（木）14時00分～15時10分
- II 場 所 大会議室
- III 出席者 副院長、診療部長、臨床研究部長、放射線科医長、  
清水弘前大学名誉教授（外部委員）、中村養護学校長（外部委員）  
看護部長、事務部長、薬剤科長、管理課長、経営企画室長  
欠席者 企画課長
- IV 議 題
- 4-4 神経筋疾患患者の胃瘻からの漏れに対するケアの効果  
看護部南1病棟 看護師 工藤 ありさ
- 4-5 入院生活における不安やストレスについての調査  
看護部6病棟 看護師 笠井 香澄美
- 4-6 耳介の皮膚トラブル改善に向けたアンダーラップの活用方法の再検討  
看護部南2病棟 看護師 北山 裕紀乃
- 4-7 重症心身障がい児（者）病棟看護師の療育活動に対する意識調査  
看護部中央2階病棟 篠原 知幸
- 4-8 重症心身障がい児（者）の排便コントロール  
—グアーガム（PHGG）の有効性についての検討—  
看護部中央3階病棟 柴田 泰輔
- 4-9 オムツを装着している重症心身障がい児のスキンケア  
—洗浄液を用いた陰部洗浄の検討—  
看護部中央4階病棟 竹浪 優衣花
- 4-10 アドバンスケアプランニング導入に向けた神経難病患者とご家族の意  
識調査  
看護部中央6階病棟 看護師 石岡 雅臣

## V 概 要

### 4-4 の課題について

- ・ 申請者から別紙倫理審査申請書により内容説明。研究計画書の研究方法研究デザインを観察研究（事例研究）に訂正する。
- ・ 今後、効果が出て使い続けることになると患者さんの費用負担がある。研究の期間は、研究費から出る。研究へのご協力をお願い（依頼）に費用の負担についての説明を入れる。
- ・ 申請書に研究終了後、今回得られたデータは削除し、紙のデータはシュレッターで破棄するとあるので、研究へのご協力をお願い（依頼）の3. 倫理的配慮へも同じ内容を入れる。

《 委員会の審査結果→条件付承認 》

### 4-5 の課題について

- ・ 申請者から別紙倫理審査申請書により内容説明。
- ・ 費用はアンケートの郵送費と封筒代。
- ・ 研究申請書と研究への依頼文の倫理的配慮部分に研究終了後、アンケート用紙を廃棄する内容を入れる。
- ・ アンケート内容は参考文献を参考に少し内容を変えており、参考文献は看護師側からの視点となっているが、作成したアンケートは患者側の視点となっている。

《 委員会の審査結果→条件付承認 》

### 4-6 の課題について

- ・ 申請者から別紙倫理審査申請書により内容説明。

《 委員会の審査結果→承認 》

### 4-7 の課題について

- ・ 申請者から別紙倫理審査申請書により内容説明。
- ・ 申請書5（2）の研究への参加に同意した場合であっても、随時これを撤回することができる」とあるが、アンケートなので必要ない。
- ・ 昨年度、療育活動中のリスク調査をし、看護師が療育活動に入れていないことが回答で多かったため、そこにターゲットを絞って今回の調査となった。
- ・ アンケートで①、②を選んだ方はその内容もお答え下さいとなると③、④を選ぶ傾向になるので、自由記載とするので修正する。

《 委員会の審査結果→条件付承認 》

### 4-8 の課題について

- ・ 申請者から別紙倫理審査申請書により内容説明。
- ・ 研究が終わった後使い続けるかは、主治医と栄養管理室と相談し確認している。

- ・ 研究計画書のデータ収集方法の量を調整すると介入研究となるので、相談報告に訂正。研究デザインも準実験研究から観察研究へ訂正。

《 委員会の審査結果→条件付承認 》

#### 4-9 の課題について

- ・ 申請者から別紙倫理審査申請書により内容説明。
- ・ 申請者から研究計画書の研究デザインの準実験研究法を観察研究に修正。

《 委員会の審査結果→承認 》

#### 4-10 の課題について

- ・ 申請者から別紙倫理審査申請書により内容説明。
- ・ 申請者から研究計画書の研究デザインの実態調査研究を観察研究（アンケート調査）に修正。
- ・ アンケートを依頼する時にACPの意味が書かれてないので、患者や家族が理解できないかもしれないので、アンケートご協力お願いの用紙にACPがどういうものなのか入れ込む。
- ・ 家族に依頼する時、アンケート用紙に患者さまとの関係を入れ込む。

《 委員会の審査結果→条件付承認 》

以 上